キーワードに見る　「赤旗」の役割　②

「苦難打開へ」

国民の苦難を軽減する―。日本共産党の立党の精神を胸に、「赤旗」は現場へと足を運び、困っている人の声を聞き、改善に向けた要求や運動を紹介しています。

最大震度7を観測した熊本地震。真夏に起きた初めての大震災でした。これまで経験したことのない過酷な状況に、被災者は命の危険にさらされました。

避難生活を送る人たちから状況を聞く、（奥右から）仁比聡平参院議員、田村智子委員長、東なつこ県副委員長・県議候補、田村貴昭前衆院議員＝8月7日、熊本県宇城市の豊野防災拠点センター

現場で声聞き 希望も示す

手の届かない所も

避難所となった学校の体育館にエアコンがなく、支援の食料も菓子パンが中心などの問題や断水した高齢世帯の苦労を報道。行政の手が届かない地域の公民館などに自主避難する人、行政が用意した旅館・ホテルへの避難を断念した人、人工肛門・人工膀胱（ストーマ）を付けている人、イグサ・畳表の生産者など、途方に暮れる被災者の困難を明らかにして、事態の打開を求める声を伝えました。

一方、希望ある取り組みを紹介。車中泊をする被災者へのボランティア団体による訪問相談活動、学童保育が休止になり居場所のない小学生を受け入れた寺院、熊本県建築労働組合の支援活動、障害者が働く作業所の再開に向けた職員の奮闘などを伝えています。

政治の力で改善へ

日本共産党は地元党組織が被災者アンケートで「困りごと」を聞き取りました。田村智子委員長を先頭に、国会議員や地方議員が何度も被災地に入り、住民の要求をもとに行政や政府に要請し議会で追及。「国民の苦難あるところ共産党あり」の姿を「赤旗」で伝えています。

取材した氷川町の梨農家は「この地域に訪ねてきたのは共産党さんだけ。直接農家の話を聞いてもらい良かった」と話しています。

被災自治体職員の加重負担の背景として国による公務員削減を指摘。避難所でジェンダー平等に基づいて、着替えテントやトイレカー、妊産婦向け施設を設置するなどの前進面も知らせました。

被災した畳表の生産者の困難を伝える「赤旗」

「19日行動」各地で連帯

国会正門前の「19日行動」に連帯する行動が19日、各地でありました。

首相に平和任せられぬ　京都

安保法制廃止や高市首相退陣をアピールしようと、京都市内で毎月取り組んでいる「19日行動」が行われ290人が参加しました。参加者は繁華街を行進し「戦争したがる政治を変えよう」「9条壊すな」との訴えを響かせました。

京都市役所前のリレートークで、京都原水協の井坂博文事務局長は、高市政権による改憲や「非核三原則」見直しの暴走を批判し「このような首相と内閣に私たちの暮らしや平和を任せられない。今こそ声を上げましょう」と強調しました。

右京区に住む清水明子氏（日本共産党京都市議候補）は、北陸新幹線の京都延伸計画で、同区内を大深度地下で強引に掘り進めようとしていると批判し「京都のまちを壊す延伸も高市政権の暴走もとめましょう」と表明しました。

日本共産党の堀川あきこ前衆院議員が参加しました。

高市政権「そこをどけ」　愛知

「憲法をくらしと政治にいかす　改憲NO！あいち総がかり行動」は、名古屋市内で「高市、そこをどけ！　憲法変えるな　戦争するな」と銘打った集会とデモを開催しました。集会では本田由紀・東京大学大学院教授の講演や、シンガー・ソングライターの川口真由美さんが戦争や平和をテーマに歌うなどの催しに、500人の参加者が熱心に耳を傾けました。

本田氏は「自民党政権の問題点と目指すべき社会の方向」と題して講演。社会に求められる公正性と社会設計とは正反対のことをしているのが高市政権だとして、「そのような政治家に対しては『そこをどけ』と表明しなければならない」と述べました。

また、日本人は「政治任」とする意識が諸外国と比べて低いと指摘した上で、「高市政権を『どう、どかすか』を考えて運動しましょう」と強調しました。

弁護士の中谷雄一・あいち総がかり行動共同代表は、国家情報局の設置やスパイ防止法などに触れ、このままでは日本社会は排除と分断が進むと指摘。「今の日本はファシズムに近い状況。それに対し私たちも対抗する力をつけていきましょう」と力を込めました。

今やるべきは外交努力　福岡

北九州市の市民らでつくる「Peace win 9 osaki（ピークロ）」は八幡西区の黒崎駅前で国会前行動に連帯し平和アクションに取り組みました。「ひとの税金で武器売買すな！」などのプラカードを掲げ、リレートークでアピール。ミサイルを買うより外交をするよう政府に働きかけ、世論を広げていこうと呼びかけました。

ピークロの尾崎凪人（なぎと）さん（29）は、高市政権のアメリカ言いなりの軍事費拡大や武器輸出全面解禁、長射程ミサイル配備、非核三原則見直しなどを批判し「今やるべきは憲法9条を生かした外交努力だ」とマイクを握りました。

安保法制（戦争法）の廃止を求める愛媛の会と愛媛9条の会は松山市で集会を開き、45人が参加しました。野党代表や市民派議員らが憲法改悪阻止、大軍拡ではなく暮らし優先の政治をめざす思いを訴えました。

愛媛9条の会顧問の井口秀作愛媛の会代表幹事は「安保法制は2010年代に起きた政治の悪化、劣化を象徴的に表す法律だ。この政治の流れを止めるためにも安保法制廃止へ闘っていく」とあいさつ。日本共産党の田中克彦県議は、全県立学校体育館に10年リースで空調を設置すると年間4億円だがトマホークは1基7億円だと指摘し「地方からも声を上げることが高市政権を追い詰めていく種になる」と力を込めました。

軍事研究を考える愛媛の会事務局の小淵港氏は、大学が軍事研究に協力した戦時中の苦い経験を踏まえ、「安保法制廃止をめざす運動とともに学問・研究の自由を守る運動を発展させよう」と発言しました。

高市首相退陣を求めてアピールする参加者＝19日、京都市

デモ行進する参加者＝19日、名古屋市中区

プラカードを掲げて訴える参加者＝19日、北九州市八幡西区

アピールする集会参加者＝19日、松山市

安保法制は政治の劣化　愛媛

デモカレンダーを見て参加した女性（48）は「先の見えない政治のニュースが入ってきて、3月からデモに参加するようになった。少しずつも続けて声を上げたい」と話しました。

社会変える仲間に

富山 山添氏迎えつどい

日本共産党の山添拓参院議員・党政策委員長を迎えたつどいが20日に富山市で行われました。「SNSで知って来ました」と語る大学生など若い世代が目立ち、改憲をはじめ暴走する高市政権についてや共産党のことなど自由に質問。山添氏は一つひとつ丁寧に答え、「希望ある社会を実現するため、ぜひ共産党の仲間になってほしい」と呼びかけ、1人が入党しました。

会場から「最近デモに参加するようになりましたが、政治が変わらない無力感も感じています。山添さんは、どうモチベーションを維持していますか」との質問が出されました。山添氏は「高市政権が国民の声を徹底して無視しているので、率直に言って疲れると思います」と応じます。

その上で山添氏は、無理せず時には休みながらも、おかしな政治に対しては誰かが声を上げ続けることが大事だと発言。「落ち込んだときは、ぜひ同じような志を持つ人と語り合ってほしい。新しい考え方にも出会い、自分も変化する時があります。仲間がいること、人は変わるし社会も変えられることに確信が持てれば、諦めずに続けることもできるのではないかと思います」と話しました。

テーブルを回って、参加者と語り合う山添氏＝20日、富山市

危険無人機飛ばすな

党鳥取県委が県に要請

無人偵察機グローバルホークが鳥取県沖で墜落した問題を受け、日本共産党鳥取県委員会の岩永尚之委員長、市谷知子県議は17日、防衛省に対して、墜落原因の徹底解明と県民への報告、運用の中止などを県に申し入れました。危機管理部の守谷謙一次長が応対しました。

市谷氏らは、漁船などに危害はなかったものの大事故につながる可能性があったと述べ、防衛省に対して抗議の意思を表明。県への報告が事案発生から2時間後と住民の安全に対する意識に欠け、その反省もないまま県民の上空を危険な自衛隊機が飛行することは許されないとして、防衛省の猛省と組織体質の抜本的改革を求めました。

9月7日から実施された日米韓共同訓練や北朝鮮のミサイル発射など軍事的緊張の中での偵察活動で攻撃や事故につながる危険性があると指摘し、自衛隊機の運用中止を要求しました。

カジノ誘致断念こそ

都議会委で藤田氏要求

日本共産党の藤田りょうこ東京都議は15日の都議会経済・港湾委員会で、「カジノいらない！東京連絡会」が提出したカジノ（IR）誘致の調査検討状況の開示を求める請願について質問し、「命に関わるギャンブル依存症と『経済効果』をてんびんに掛けることは断じて許されない」と誘致断念を求めました。

国のIR候補地追加募集まで7カ月に迫る中、都は「メリット・デメリットを総合的に検討」と繰り返すのみで検討状況を一切明かしていない上に、過去の資料を廃棄していました。藤田氏は「まさに『闇から闇へ』だ」と批判しました。

都港湾局の前山琢也担当部長はカジノ検討の調査報告書を「ホームページで掲載している」とした一方、藤田氏がカジノ候補地に関する未公開の調査報告書の存在を指摘し開示を求めると、「街づくりの方向性検討の情報収集で実施したもので、公表を前提に作成したものではない」と弁明しました。

藤田氏は、未公開の報告書で臨海副都心青海地区の都有地にカジノを配置した図とともに、日本人にカジノを利用させなければ事業が成り立たないと結論づけ、日本人客を前提に年最大5500億円超の売り上げを試算していたと指摘。

一方で、東京にカジノを誘致した場合にギャンブル依存症の人がどれぐらいになるか試算したのかただしたのに対し、前山部長は、都内でのギャンブル依存症増加の影響を試算していないと認めました。

労働条件改善へ ともに

金融労連結成20周年レセプション

小池氏あいさつ

銀行や信用金庫などの金融機関で働く人たちでつくる全国金融労働組合連合会（金融労連）は19日、東京都内で結成20周年記念レセプションを開きました。日本共産党の小池晃書記局長が参加しました。

中島康隆委員長は「金融機関で働く仲間にとって金融労連は、経営者に、ちゃんと物が言える闘う労働組合のよりどころだ」と強調。「今後も労働条件の改善に向け、1人が入党しました。

金融労連結成20周年記念レセプションで、あいさつする中島委員長（中央）。左端は日本共産党の小池書記局長＝19日、東京都内

竹伐採「杉」として公金支出

水戸市議会 田中氏 違法性追及

水戸市議会の一般質問で15日、日本共産党の田中真己市議は、市が2021年に行った都市計画道路の用地買収で、伐採後の竹やぶを杉だったことにして、約2400万円もの補償金を支払った不正を追及しました。

市は同市見川4丁目の道路用地（約2300平方㍍）を不動産会社から買収した際、土地代約5000万円に加え、杉190本の移転補償費として約2400万円を支払いました。一方、売買契約日より約1カ月前までにすべての樹木が伐採されていました。

市は「航空写真などで杉190本と推定し補償した」と説明しますが、市の情報公開資料で確認できるのは竹や広葉樹ばかりで、近隣住民も「竹やぶだった」と証言しています。

田中氏は「無管理の耕作放棄地に杉は育たない」という森林の専門家の見解を紹介し「市が推定した直径36㌢の杉は樹齢60年以上に相当する。市が買収する15年前には樹木が生えていない。総額約7500万円ありきで、補償金上乗せのために杉を捏造（ねつぞう）したのではないか」と追及。不正の徹底解明と税金支出の返還請求を求めました。

大森幹司建設部長は「適正な手続きで補償した」と無反省な態度を示しました。

レーダー

対話を嫌い〝税金チャンネル〟

教室の場面が映ると「さあ、始まりました」とお笑い芸人がせりふを発する「骨太教室」なる動画がユーチューブで配信されています。

「首相官邸の公式YouTubeチャンネル」を通して高市政権の「骨太方針2026」を宣伝するための動画です。芸能人や、落選後にタレントになった自民党の元衆院議員が出演。城内実経済財政担当相が解説する内容になっています。

来年度予算の概算要求で、内閣広報室の予算を、今年度の10倍超となる約72億円を求めている高市早苗政権。15日、このことを取り上げた文化放送のラジオ番組で、フリーライターの武田砂鉄さんは、「理解が深まるものではなかった…。どれだけの税金が浪費されているんだろう、と思ってしまう」と指摘しました。

なぜ、動画？　時間を十分に取って記者の質問に答える会見から逃げている高市首相らしいやり方。限られた記者しか参加できない〝ぶらさがり〟と称する短時間の会見が中心。事前に質問を記者から集めて回答を用意して会見に臨むことが明らかになっています。

ことし5月、このことを問題視した海外メディアの記者に、木原稔官房長官は、「（首相が）国民にタイムリーに伝えたいと判断した際には、ぶらさがりの形で会見する」と逃げ腰の説明。対話を嫌う高市氏への配慮が裏付けられました。

一方、高市氏が好んで発言する場所は、一方的に投稿できて、〝岩盤支持者〟をつなぎ止める場になっている「X」（旧ツイッター）です。

武田さんは、「（支持者が反応するXは、政策が）うまくいった、ということに、一方的な発信だとできちゃうわけです」。〝なんかやってくれそう〟という期待感を維持するためにもなると指摘しました。

改造後の世論調査（「読売」19日付）で高市内閣の支持率は3㌽増え、59％に。これだけ物価高が続き、裏金議員を閣僚に起用しても、この支持率…。ニューヨークのマムダニ市長たちのように多様な人たちと同じ目線で対話をしていかなければ、と思います。

膨大な税金を使って、ネットを利用した宣伝を強め、国民の聞きたいことには答えない―。高市政権のメディア戦略に目を向ける必要があります。

（小川浩）